

子どもの夢を育てませんか！

保育士・幼稚園教諭は、子どもの育ちと学びを支える大切な存在です。子どもたちの成長を温かく見守りながら、夢を育てるすてきな仕事を私たちと一緒にしてみませんか？

先輩保育士・幼稚園教諭 からのメッセージ



半田美奈子さん
(フレール幼稚園)

保育士は、子どもが大好きという気持ちを持つことが一番大切です。

健やかな成長のために、愛情をもって同じ目線で接すると、子どもたちも笑顔という一番のお礼を返してくれますよ。



栗原和美さん
(アリス保育園)

古河市保育士・幼稚園教諭 就活応援セミナー2020

市内の保育施設・幼稚園・認定こども園の勤務状況や職場環境、子どもたちの様子などを実際に働いている保育士・幼稚園教諭から話を直接聞くことができます。ぜひ、ご参加ください。

日時 8月2日(日)13時～16時

場所 はなももプラザ

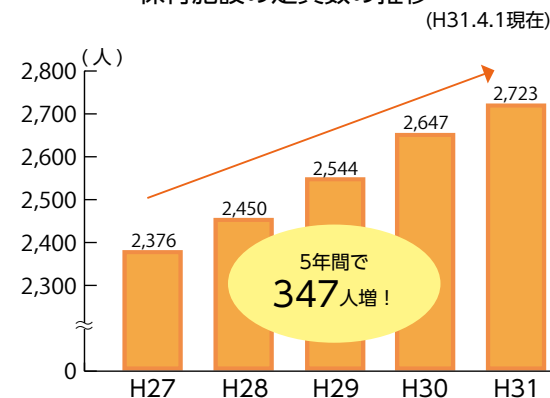
対象 保育士・幼稚園教諭を目指す学生、既に資格を持っている人、育児関連の職に興味のある人など
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止になる場合があります。

問 アリス保育園Tel.76-7111
フレール幼稚園Tel.32-2221

待機児童の推移 (H31.4.1現在)

年度	待機児童数	保育施設等の定員数増により、待機児童数を4年間で約6割減少させることができました
H28	41人	
H29	38人	
H30	30人	
H31	15人	

保育施設の定員数の推移 (H31.4.1現在)



学童保育のクラス数推移 (R1.5.1現在)

年度	クラス数	学童保育の需要が高い学校を中心に、毎年クラス数を増やしています
H28	34	
H29	36	
H30	38	
H31、R1	40	

待機児童ゼロに向けた取り組み

市内の待機児童ゼロを実現するためには、0～2歳児の受け入れ体制を強化する必要があります。そのため、少子化を考慮しながら、小規模保育施設の認可などに取り組んでいきます。

また、働き方改革や子育てしやすい環境づくりに取り組みむ事業所を「元気アップ企業」として市が認定することで、市内で働きたいと思える魅力的な事業所を増やし、地元雇用を促進していきます。

私たちのまちを子育てしやすい環境にしていくためには、子育て世帯の悩みに耳を傾け、さまざまなニーズに対応したサービスを提供していくことが大切です。多くの人が「このまちに住んでいて良かった」と思えるよう、これからも効果的な施策を実施していきます。

待機児童ゼロを目指して

子育てと仕事を両立できるまちに



子

育てと仕事を両立させるためには、家庭や職場での協力や理解が必要です。

また、市が保育施設や放課後児童クラブなどの受け入れ体制を強化することも重要となっています。

そのため、平成28年から園児・児童の定員を増やすことに重点をおいた施策を実施しています。取り組みとしては、上辺見保育所の建て替えを行い定員数を増やすほか、民間保育施設の新設に対して、補助等を行っています。

その結果、保育施設等の定員数が約350人増え、市内の待機児童数を約6割減少させることができました。また、昨年度には病児保育施設が新設されたことにより、多様なニーズに対応できる施設が増えています。

仕事をしながらでも子育てができるよう、今後も保育施設の新設補助などを継続して実施し、待機児童ゼロを目指していきます。

子育てしやすい職場環境に

市では、男性職員の育児参加を促すため、育児休業制度の拡充や休暇を取得しやすい職場の風土づくりに取り組んでいます。市が育児休業取得率100%を実現することで、市内企業にも子育てしやすい職場環境を広げることが目標となっています。